

# 令和5年度採用山形県公立学校教員選考試験 春のオンライン説明会

## 山形県の先生になろう

令和5年度採用山形県公立学校教員選考試験説明会

### 本日の内容

- 1 山形県の教育
- 2 研修体制
- 3 職場環境
- 4 待遇
- 5 試験の変更点
- 6 試験の概要
- 7 よくある〇〇

山形県教員採用試験HP



山形県教員採用公式Twitter



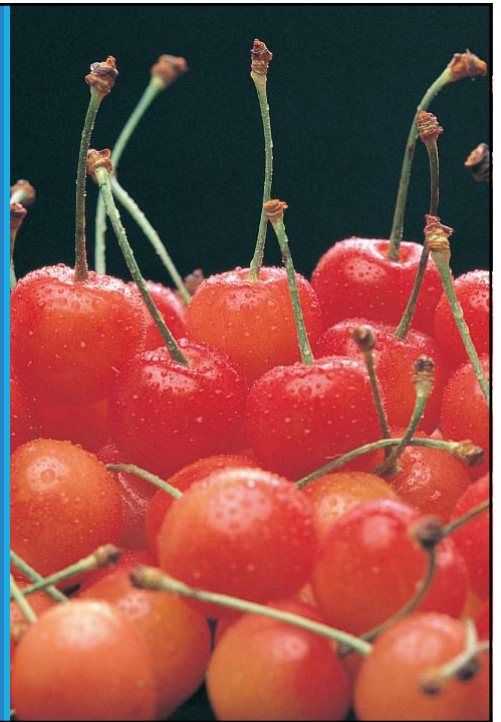
最後に質疑応答の時間があります。  
遠慮なくお聞きください。

山形県DC推進監  
きてけろくん



# 1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育



## 山形県の目指す教育

### 第6次山形県教育振興計画

#### 【基本目標】

「人間力に満ちあふれ、  
山形の未来をひらく人づくり」

#### 【目指す人間像】

「いのち」をつなぐ人  
学びを生かす人  
地域をつくる人

〈テーマ〉 つなぐ ～いのち、学び、地域～

〈目指す人間像〉

### 「いのち」をつなぐ人

自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け止め、他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命を、次の世代につないでいく人。

### 学びを 生かす人

学びを重ねることを通して、知徳体を磨き、自ら考え、主体的に判断し、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる人。多様な他者と協働しながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす人。

### 地域を つくる人

郷土を愛し、地域とつながり続ける人。地域コミュニティの一員として、あるいは地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域のよさや課題を主体的に捉え、地域の人と協働することを通して、地域の未来をつくる人。

### 広い視野と高い志を持って (全体を貫く基本姿勢)

夢や希望を持って、その達成に向け行動し続ける姿勢。地域の窓から世界を見るなど広い視野で物事を考え、より高い価値の創造に果敢に挑戦し続ける人。

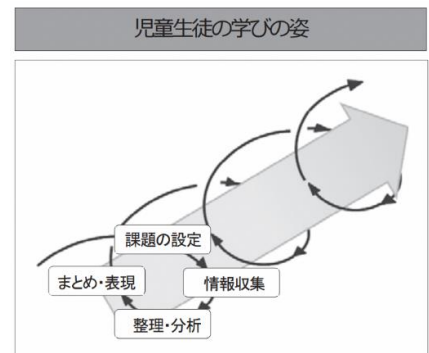
## 目指す教師像

- 1 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
- 2 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方
- 3 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
- 4 山形県の教員として、郷土を愛する心をもち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校を築こうとする方

## 特色ある教育

### ○探究型学習

- ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連の探究活動
- ・児童生徒の主体的・協働的な学び
- ・課題解決のために必要となる思考力・判断力・表現力等を育む



### ○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

## 2 研修体制

- キャリアアップ
- 初任者研修
- チーム「あなた」



### 初任者研修

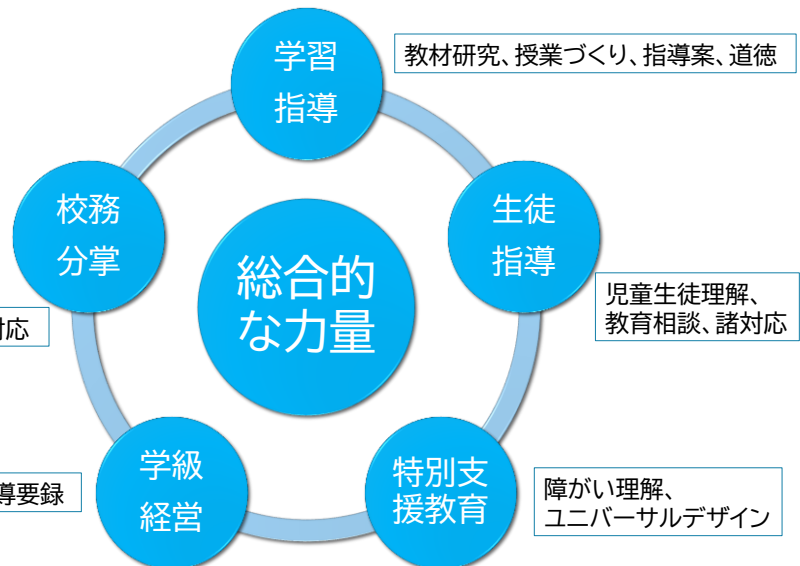
～校内における研修(年間100時間以上)～

#### OJTによる力量形成 (On the Job Training)

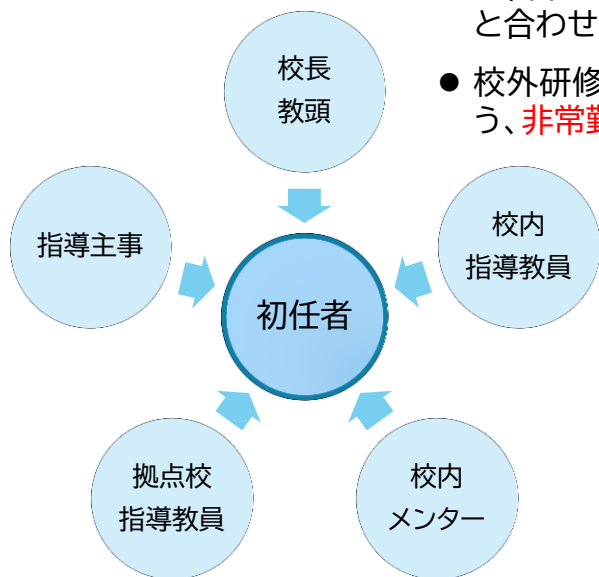
学校現場における実際の実務  
をととした研修を実施

企画立案、運営、組織対応

学級活動、面談、通知表、指導要録



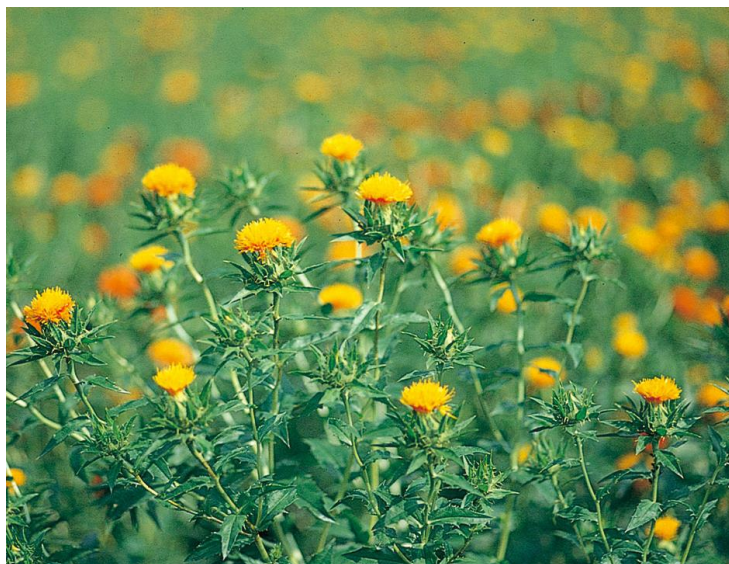
## チーム「あなた」



- 1年目だけではなく、2～3年目の**フォローアップ研修**と合わせた一体的な研修を実施
- 校外研修時には、授業の進度が遅れることのないよう、**非常勤講師**を派遣



## 2 研修体制



## 3 職場環境

- 働き方改革
- 人材の活用
- 負担軽減に向けて

## 働き方改革

### ～令和4年度の重点の取組み～

- 勤務時間**に関する意識啓発と管理の徹底
- 適切な**部活動運営**の推進
- 教員が**担うべき業務**の明確化と適正化
- 教員の**事務負担**の軽減
- 保護者・地域**への周知と地域人材の活用



### 山形県公立学校における働き方改革 ～令和4年度(概要)～

- 取組み重点期間 (第1期) : 令和2年度～令和4年度
- 時間外在校等時間の基本方針 : 月45時間、年360時間を越えない

#### 令和4年度・第1期の具体的目標

- ☑ 第1期: 令和4年度末までに複数月平均の超過勤務時間<sup>※1</sup>80時間を越える教員数0人を目指す
- ☑ 4年度: 1人1か月あたりの超過勤務時間<sup>※1</sup>を前年度比20%削減する
- ☑ 4年度: 1人1か月あたりの超過勤務時間<sup>※1</sup>が80時間を越える教員を前年度比40%減とする

#### 令和4年度の重点取組み

働き方改革プランで掲げた10本の柱(重点取組み)に沿った改革を推進しながら、以下の5項目について継続して重点的に取り組む

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 勤務時間に関する意識啓発と管理の徹底</li> <li>○ 定期的な勤務時間管理システムの構築と運用を促進するとともに、管理職による勤務時間管理の意識啓発を推進する</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 教員が担うべき業務の明確化と適正化</li> <li>○ WEBを活用した働き方改革の就業証明の収集と発信を随時行い、学校や教員が担うべき業務についての適正化を促進する</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 適切な部活動運営の推進</li> <li>○ 「部活動の在り方に関する方針」を遵守した活動を推進し、教員の負担軽減に取り組む</li> <li>○ 地域運動部活動推進事業の研究校における実践研究を行い、新しいスポーツ環境の構築を目指す</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 教員の事務負担の軽減</li> <li>○ 校務支援システム・ソフトの活用や人的支援・外部人材の活用による校務分掌の負担軽減を促進する</li> <li>○ 県教員センターのWEBページ「就業情報システム」の活用を促進し、授業・教材準備の負担軽減を図る</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 保護者・地域への周知と地域人材の活用</li> <li>○ 地域学校協働活動推進員による地域とのコーディネート業務の標準化を推進し、地域との協働を促進する</li> <li>○ PTA連合会等へのオンラインを活用した説明を実施し、地域・保護者の理解と協力を求める</li> </ul> |  |

#### 令和3年度<sup>※</sup>市町村教委働き方改革オンラインミーティング結果報告

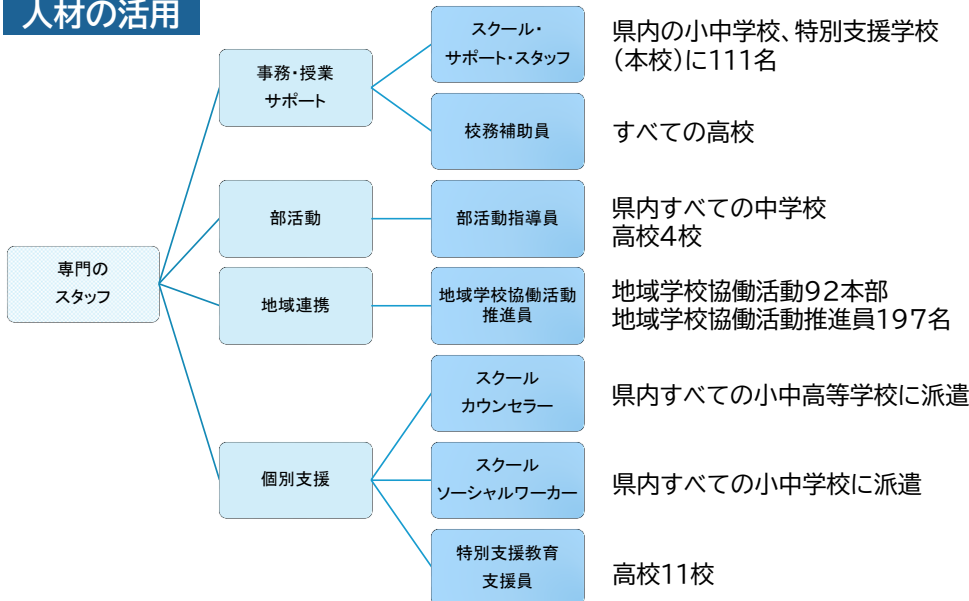
テーマ「80時間超の教員数をゼロにするために」今後取り組むこと 令和4年2月18日開催

- ☑ 客観的勤務時間管理
- ☑ 面談(長時間勤務者との面談による具体的な業務負担軽減)
- ☑ 部活動改革(休日の部活動の地域移行、複数顧問制が可能な適正な部活動数)

#### 令和3年度上期概要

80時間超の人数(令和3年度上期6か月平均80時間超人数)			
◆ 小学校	◆ 中学校	◆ 特別支援学校	◆ 高等学校
11人 (18.4%)	147人 (95.4%)	0人 (0.0%)	174人 (83.4%)
時間外在校等時間(1人1か月あたり平均)			
◆ 小学校	◆ 中学校	◆ 特別支援学校	◆ 高等学校
36時間 21分 (34時間 10分)	48時間 02分 (43時間 56分)	22時間 48分 (22時間 18分)	45時間 17分 (38時間 30分)

## 人材の活用



左記以外にも、  
市町村独自に

- ・学習支援
- ・特別支援
- ・教育相談
- ・読書活動
- ・日本語指導
- ・外国語指導  
等々

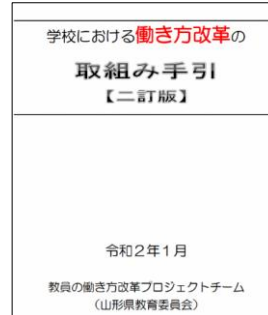
を担当する方が  
200名近くいま  
す。



## 負担軽減に向けて

- **統合型校務支援システム**  
校務処理の標準化、データ管理
- **留守番電話**  
勤務時間外の電話対応
- **学校給食費の公会計化**  
未納等の処理
- **出張や研修**  
整理・統合、長期休業中の休暇

- **「取組み手引」**  
各校での良い実践例をまとめ、さらなる改善に役立てる
- **「働き方改革通信」**  
働き方改革の通信を発行し、意識啓発を図る



## 3 職場環境



## 4 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生

## 給与等

### □初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	¥191,700	¥204,100
山形県の教育職=教諭	¥219,024	¥241,280

教育職は教職調整額を含む。山形県内の大学卒初任給平均は¥192,600。  
初任給は職歴、経験年数を加算する。

### □手当

- ・期末勤勉手当  
4. 25ヶ月分を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当  
例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当  
扶養する配偶者、子、祖父母等がいる場合に支給
- ・通勤手当  
通勤距離、通勤方法に応じて支給

他の手当もあります

4 待遇

## 休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分  
・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

### □休暇・休業(おもなもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
ボランティア休暇	5日	自発的な社会貢献活動
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
感染症等予防休暇	必要な期間	
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

4 待遇



## 福利厚生

- 採用と同時に「公立学校共済組合員」
- 検診事業(年1回の定期健康診断、人間ドック)  
東北中央病院は山形県にあります



- 給付事業(病気、災害、厚生年金)
- 貸付事業(住宅、結婚、出産、教育)
- 健康相談、メンタルヘルス相談
- ライフステージに合わせた祝金、見舞金
- リフレッシュ推進(プロスポーツ体感、宿泊利用補助)

4 待遇

## 5 試験の 変更点



## 変更点等

### 1 選考を行う校種・職、教科・科目及び採用見込数

校種・職		教科・科目	採用見込数
小学校教諭 (「小学校英語」を含む)			約185名
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保体、技術、家庭、英語	約85名
特支 学校	小学部教諭		約25名
	中学部教諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保体、技術、家庭、英語	
高等 学校	教諭	国語、「世界史・日本史」、地理、公民、数学、生物、保体、英語、家庭、情報、農業、機械、電気、建築、土木、商業、看護、福祉	約35名
	助教諭	機械、電気、建築、土木	
養護教諭			約15名
栄養教諭			若干名

5 試験の変更点

## 変更点等

### 2 「元職教員特別選考(略称:元特)」の新設

- 県内の公立学校で正式採用されていた教諭、養護教諭、栄養教諭のうち、介護や子育て等で定年前に退職された方が対象。
- 志願資格は以下のとおり
  - ・ 昭和38年4月2日以降に出生した者
  - ・ 志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職で、平成27年4月1日から令和4年3月31日までの期間のうち、本県の国立大学法人附属学校並びに公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員として、3年以上継続して勤務した経験のある者
- 元特Ⅰ:小、中、特小、特中、養教、栄教 → 一次試験すべて免除
- 元特Ⅱ:高校 → 一次試験の「教職・一般」が免除

5 試験の変更点

## 変更点等

### 3 「大学推薦特別選考」の変更点

- (1) 推薦対象に「特別支援学校小学部」「特別支援学校中学部」が追加されました。
- (2) 推薦要件に次の1文が追加されました(成績に関する要件)。

出願する前年度未までの成績において、評価80%~100%(優良可による評価の場合は「優」、ABCによる評価の場合は「A」以上)が全体の60%以上ある者が望ましい。

- (3) 推薦可能人数は、前年度の合格実績等によって変わります。
- (4) 推薦書の様式が変わります。今年度のものを使ってください。
- (5) 可否の結果を大学にも通知します。
- (6) 各大学で推薦書や志願書、受験票等を取りまとめて提出します。

5 試験の変更点

## 変更点等

### 4 「現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ」の年齢要件変更

【昨年度まで】  
昭和58年4月2日以降生まれの者



【今年度から】  
昭和48年4月2日以降生まれの者

### 5 「スポーツ特別選考」の対象競技変更

【昨年度まで】  
体操(新体操)、ウエイトリフティング、  
ソフトテニス、フェンシング、アーチェリー  
及びボクシング



【今年度】  
カヌー、体操(新体操)、  
ウエイトリフティング、ソフトテニス、  
フェンシング及びアーチェリー

5 試験の変更点

## 変更点等

### 6 加点制度の変更・拡充

#### (1) 加点の上限

【昨年度まで】  
全校種等とも20点



【今年度から】  
高等学校は40点、それ以外は25点

#### (2) 高等学校志願者で、受験教科以外に「情報」所有者

【昨年度まで】  
10点



【今年度から】  
30点

5 試験の変更点

## 変更点等

### 6 加点制度の変更・拡充

#### (3) 特支小・特支中志願者で、複数免許状所有者(見込を含む)への加点

【昨年度まで】  
「知肢病」+「視」又は「知肢病」+「聴」で  
5点



【今年度から】  
「知肢病のうち2領域」+「視」又は「知肢病のうち2領域」+「聴」で5点

【昨年度まで】 なし



【今年度から】  
高校の「情報」免許 → 10点  
受験校種・教科以外で「数学」「理科」 →  
10点

5 試験の変更点

## 変更点等

### 7 二次試験における実施内容の変更

#### 【昨年度まで】

- ・ 個人面接1
- ・ 個人面接2
- ・ 模擬授業等
- ・ 実技試験(※1)
- ・ 適性検査
- ・ 作文



#### 【今年度から】

- ・ 個人面接1(※2)
- ・ 個人面接2(※2)
- ・ ~~模擬授業等~~
- ・ 実技試験(※1)
- ・ 適性検査
- ・ 作文

今年度実施の試験から、二次試験における「**模擬授業等**」は実施しません。

(※1) 実技試験は小、特小のみ

(※2) 個人面接1, 2には「**場面指導等**」(学校生活全般における様々な場面での児童生徒や保護者への対応の仕方等について問う)を含む。

## 変更点等

### 8 提出書類の変更

(1) 昨年度まで、二次試験において全員に提出を求めていた「**推薦書**」は**不要**となります。

(2) 現職教員特別選考の志願者は、今年度から新たに「**勤務状況調書**」の提出が必要です。

- ・ 様式は**5/6(金)**にホームページに掲載します。
- ・ 現在勤務している学校の**校長先生(所属長)**に作成を依頼してください。
- ・ 親展・厳封のうえ、志願書等とともに**5/27**まで提出してください。

## 変更点等

### 9 新型コロナ対応による変更

今後の感染状況により、更なる変更が必要になる場合はホームページやTwitterでお知らせします。こまめに確認してください。

(1)実施内容の変更(昨年度と同様の措置)

「3密」回避の観点から、

- ・ 集団討議
- ・ 保健体育教諭志願者の実技試験における「水泳」

は実施しません。

(2)日程の変更(昨年度と同様の措置)

- 一次試験 → 土曜日の一日のみ(実技のない教科・科目等は土曜日の午前中のみ)
- 二次試験 → 指定された日の半日(午前or午後)  
(小、特小は実技試験が別日に実施されます。)

5 試験の変更点



## 6 試験の概要

桜が咲きますように



## 選考区分

区分	略称	主な志願資格	R4特選合格者
一般選考	一般	特別選考の志願資格の方以外はこちら	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 <b>通算13月以上</b>	42名
	現職Ⅰ・Ⅱ	現在、本県以外において正規採用として、 <b>3年以上継続</b> ※ <b>3年目の方も可</b>	14名
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より1名	35名
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、5年以上継続 (英語、工業、情報、看護、福祉)	2名 (機・看)
	<b>元職Ⅰ・Ⅱ</b>	<b>元特Ⅰ・Ⅱ</b> H27.4.1～R4.3.31の期間で、本県の正規採用として3年以上の勤務経験	
	前年度一次試験合格者	前年度一次合格、二次不合格の方 (昨年度の結果通知に「 <b>令和5年度採用山形県公立学校教員第一次選考試験の受験免除の対象となります。</b> 」の記載がある方のみ。)	61名
	障がい者	障がいのある方	0名
	スポーツ	スポーツ 国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	1名

6 試験の概要

## 試験内容

※昨年度実施の字数

試験	試験内容	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	80分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養
	教科・科目	110分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、90分で実施)
	小論文	80分	指定されたテーマについて、1000字以内※で論述
	実技試験	—	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	—	面接官数名と受験者との面接
	作文	—	指定されたテーマについて、800字以内※で作文
	実技試験	—	小学校と特別支援学校小学部
	適性検査	—	

・校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

・**過去3年分の問題**等(作文・小論文のテーマを含む)は、山形県庁1階「行政情報センター」で**閲覧・複写**可。  
詳しくは県HPをご覧ください。

[https://www.pref.yamagata.jp/documents/4981/kakomon\\_get.pdf](https://www.pref.yamagata.jp/documents/4981/kakomon_get.pdf)

6 試験の概要

## 試験内容と選考区分

### □一次試験

	一般選考	特別選考				
		現特Ⅱ 元特Ⅱ 大特	講特 社特	スポ特	障特	現特Ⅰ 元特Ⅰ 前特
教職・一般	○	免除		免除	○	免除
教科・科目	○	○	○	免除	○	
小論文	—	—	○	○	—	
実技試験	○	○	○	免除	○	
面接	—	—	—	○	—	

□二次試験:「現特Ⅰ」「元特Ⅰ」において、実技を免除。

6 試験の概要

## 実技試験のある校種等

※1:昨年度実施の試験内容

※2:一昨年度実施の試験内容

	校種等、教科・科目	試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画※1
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、 サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作※2
	中学校 高等学校	家庭	・調理、裁縫※1
		英語	・英語による面接
	養護教諭	・場面对応※1	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

英語による質問の例を県HPに掲載中。

6 試験の概要



## 加点制度

試験が実施される前に得点を得ることができ、**有利**です。詳しくは実施要項を参照。

校種等	要件	加点
①小	「数学」「理科」「音楽」又は「英語」の免許状	5
②中	受験教科以外の教科の免許状	5
③特支、高校	受験教科以外に「情報」の免許状	特:10 高:30
④高	受験教科以外に「福祉」の免許状	10
⑤高「世・日」「地理」	高等学校の「公民」の免許状	5
⑥高「公民」	高等学校の「地理歴史」の免許状	5
⑦特支	受験教科以外に「数学」又は「理科」の免許状	10
⑧-(ア)特支	「知肢病」から2領域と「視聴」から1領域	5
⑧-(イ)特支	「視覚」「聴覚」及び「知肢病」(5領域すべて)	10
⑨小、中、高	特別支援学校の免許状	10
⑩小、特支小	実用英語技能検定2級以上、TOEFLiBT 65点以上、又はTOEIC 600点以上	10
⑪中、特中、高「英語」	実用英語技能検定準1級以上、TOEFLiBT 80点以上、又はTOEIC 730点以上	10
⑫全校種等	司書教諭の資格を有する者	5

併願出願する方は、  
必ず該当するはず。

6 試験の概要

## 併願出願制度

次の組み合わせのいずれかを第一志望、第二志望として志願できます。

組み合わせ①

「小学校」と「特別支援学校小学部」

← 小学校と特別支援学校の  
両方の免許状が必要

組み合わせ②

「中学校」と「特別支援学校中学部」

← 中学校と特別支援学校の  
両方の免許状が必要

・ポイント①

「小学校」と「特別支援学校小学部」の**教科・科目**の問題は、**同じ**問題です。

「中学校」と「特別支援学校中学部」の**教科・科目**の問題は、**同じ**問題です。

・ポイント②

「中学校」と「高等学校」の併願出願は**できません**。

・ポイント③

第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます。併願の志願資格である特支免許状の所有は、小中では加点資格となるからです。

**加点には申請が必要**ですので、忘れずに加点申請してください。

6 試験の概要

## 小学校英語

小学校の英語教育の充実を目指しています



### 《特徴》

- 英語の専科指導教員や学級担任として、小学校の英語教育を推進する校種等です。
- 小学校と英語の免許所有が要件です。試験は小学校と同様ですが、実技試験は英語選択が必須。
- 採用時点では学級担任として力量を高めます。初任研は小学校の方と一緒に。

### 《選考について》

- ①小学校英語を志望(併願希望なし)  
小学校英語で選考 → 不合格の場合 → 小学校で選考
- ②小学校を志望(併願希望なし)  
小学校で選考 → 不合格の場合 → 不合格
- ③小学校英語を志望(併願希望あり)  
小学校英語で選考 → 不合格の場合 → 小学校で選考 → 不合格の場合 → 特支小学部で選考

6 試験の概要

## 一次試験の配点

		教職教養・一般教養 (小論文)	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	—
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	—
高等学校	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	—
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	—

加点制度を利用した方は、高校は40点、それ以外は25点を上限に加点されます。

6 試験の概要

## 二次試験の配点

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	-

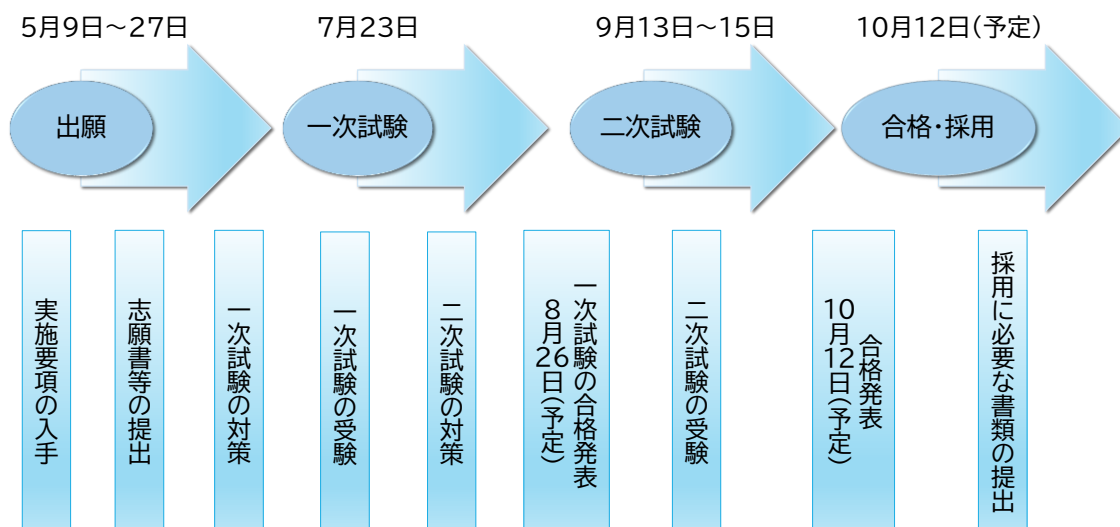
## あなたの配点

一次試験( )点      二次試験( )点

6 試験の概要

## スケジュール

### ～合格へのロードマップ～



6 試験の概要

## 出願

### 1 必要書類を入手する

#### ① 「実施要項」を入手する ※願書配付期間: 令和4年5月6日(金)～5月27日(金)

- ・志願書等、ダウンロードできない書類も同封されているため、**現物の入手が必須。**
- ・県庁や総合支庁の窓口で配布しますが、**郵送で請求**できます。  
※一部の大学の教授担当部局でも配布します。

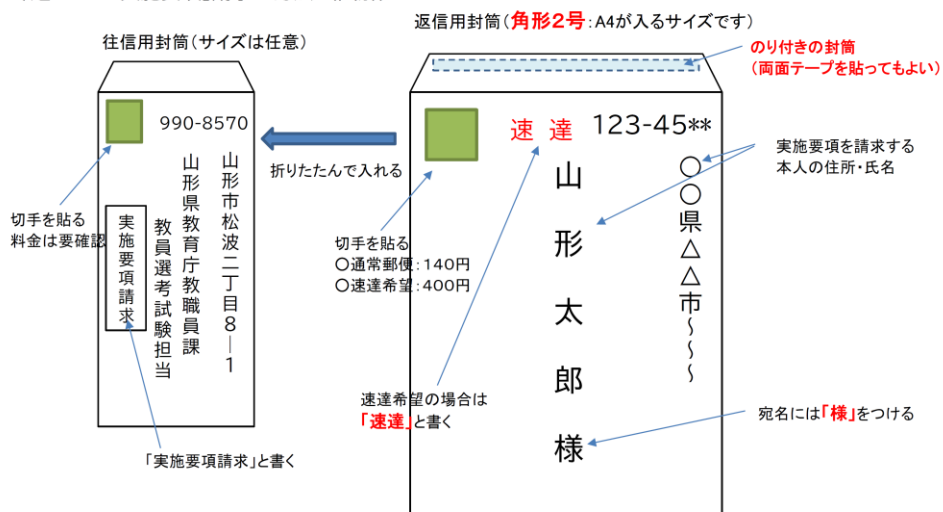
#### ② 「加点申請書」等をダウンロードする

- ・加点申請書や特別選考様式は、**実施要項に同封されていません。**
- ・HP「山形県」→「資格・試験・採用」→「**山形県公立学校教員の採用について**」からダウンロード。

6 試験の概要

## 郵送による実施要項の請求について

郵送による「実施要項」請求の方法（図解）



## ダウンロードして入手する書類

講 元

### 1 第一次選考試験

「職歴申告書」……名前が同じなので要注意。

対象者	ダウンロードして入手する書類	備考
講特	「職歴申告書(講師等特別選考)」	HPIにQ&Aがあります。
元特 I・II	「職歴申告書(元職教員特別選考 I・II)」	
現特 I・II	「在職証明書」	各教育委員会に依頼します。
	「勤務状況調書」	所属長に依頼します。
大特	「大学推薦特別選考推薦書」	大学に依頼します。
スポ特	「スポーツ特別選考調書」	

作成を依頼する必要がある者は早めに準備を。

他にも任意様式で準備が必要な書類があります。詳しくは実施要項で確認を。

### 2 第二次選考試験 → ありません。(昨年度までの「推薦書」はなくなりました。)

## 出願

### 2 出願する

志願書等を提出 = 出願する ※受付期間: 令和4年5月9日(月)～5月27日(金)

- 簡易書留による郵送を推奨(山形県庁13階の教職員課へ持参しての提出も可能)。
- 郵送の場合は最終日の消印有効(持参は最終日の17時締め切り)。
- 最寄りの大きな郵便局の窓口が何時まで簡易書留で対応しているか、確認を。  
※ コロナ禍により窓口受付時間が短縮になっている場合があります。

(注) 郵送の場合、必ず簡易書留で出願してください。  
普通郵便でポストに投函すると、いつの消印になるか分かりません。  
また、万が一県庁に届いていない場合も追跡ができません。

## 一次試験

令和4年7月23日(土)

### ① 試験会場

- 山形中央高校 (小学校、特支小学部、各校種等の「保健体育」)
- 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
- 山形県教育センター (各校種等の「技術」)
- 上山明新館高校 (上記以外)

### ② 試験日程

- 午前  
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
- 午後  
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

どこにありますか？  
どのように行きますか？  
前泊は必要ですか？



一次試験の合格発表は8月26日(金)です。

6 試験の概要

## 二次試験

令和4年9月13日(火)～9月15日(木)を予定

### ① 試験会場

- 山形県教育センター

一次試験の合格通知に  
日時を指定した文書が同封  
されます。

### ② 試験日程

- 3日間のうち、指定された日時
- 「個人面接1・2」「作文」「適性検査」や説明を含めて半日で終了
- 小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施



二次試験の合格発表は10月12日(水)です。



- ※ 大学院への進学(新M1)、大学院への在学継続(新M2)を対象とする  
**採用延期**の手続きは、合格発表～12月中旬となります。
- ※ 二次試験不合格の場合で、**総合ランクがB**の方は次年度の一次試験が**免除**となります(一次試験が免除となる選考区分は対象外)。

6 試験の概要

## 採用延期

次のいずれかに該当する場合は「採用延期」が可能。

R4.12.19までに「採用延期願」(R4.10.12にHP掲載予定)を提出すること。

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 希望によりR7.4.1まで採用を延期できる。
2. 大学院修士課程1年次に在学中の合格者 → 希望によりR6.4.1まで採用を延期できる。

※修業年限が2年を超える場合はご相談ください。

例:合格後、(教職)大学院へ進学・修学継続する場合

教職大学院特別  
選考(一次免除)

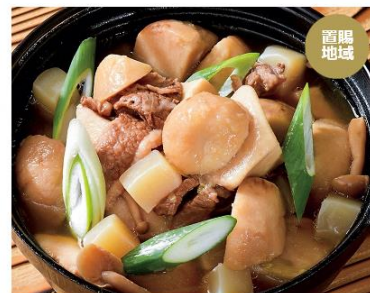


6 試験の概要

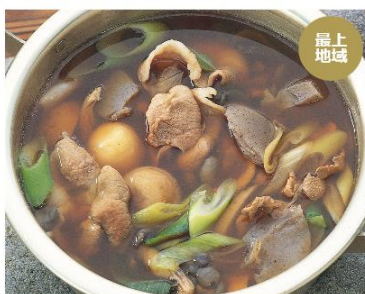
## 7 よくある



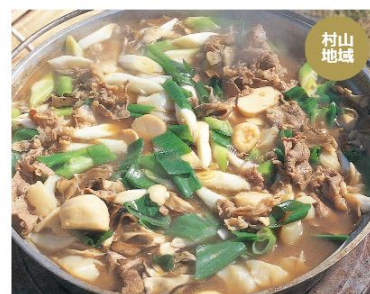
豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味(かくし味に味噌)



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

## 志願についてのQ&A

Q:小学校と特支小学部を併願する場合、**第一志望**をどちらにした方が有利か。

A:どちらを第一志望にしても、有利不利にはなりません。

ただし、選考する順番が決まりますので、採用されたい校種を第一志望にしてください。

Q:小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利か。

A:どちらを選択しても、有利不利にはなりません。

自分の力をより発揮しやすい方を選択してください。

Q:出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできるか。

A:できません。出願前によく検討して選択してください。

Q:**出願後**に英語資格の結果が届く場合は、**加点申請**を行うことはできるか。

A:できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q:**司書教諭**講習の単位を年度内に取り終える予定のため、**加点申請**を行うことはできるか。

A:できません。出願時点で司書教諭講習修了証書の写しの提出が必要です。

7 よくある〇〇

## 出願時に気を付けてほしいこと



(県の鳥 オシドリ)



### 出願時に気を付けてほしいこと

- ①併願をする場合には、**両方の免許が必要です**。
- ②志願書と受験票の**下の△の部分**を切ります。
- ③写真は**裏面記名し、のり付け+テープ**でとめます。
- ④封筒の大きさは**指定されたサイズ**にします。
- ⑤返信用封筒には**切手を貼ります**。
- ⑥受付は**午後5時、消印は5月27日(金)**までです。
- ⑦一次試験の会場は、**4カ所**に分かれます。
- ⑧加点は**申請が必要**です。

### 志願者の方に連絡するパターン

返信用封筒の**大きさ**の誤り  
返信用封筒に**切手**が貼られていない  
郵送の**料金不足**

受験票に写真が**貼られていない**  
志願書の写真と受験票の写真が**異なっている**

エントリーシートの様式が、**配布したもの**と異なっている

志願書に○をつけた志願校種と、受験票に○をつけた**志願校種が異なっている**  
加点申請に○がついているにもかかわらず、**加点申請書が同封されていない**

志願書提出の封筒に押された**消印が締め切りの翌日**になっている

余裕をもって確認すれば防ぐことのできる、あるあるです。

いつでも、何でも相談してください！！

山形県教育庁教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

HPは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」  
※3月1日から、教員採用試験SNS(山形県教員採用)を開始しています

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日常に募集しており、随時任用(採用)しています。  
登録票(履歴書)を提出した方と相談して、任用する学校が決まります。  
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります。

最後にお知らせです

## 先輩教員からのメッセージ



## 教員になるにあたって不安だったこと → 現在はどうか。

たくさんの子供の前に立って教えることが自分にできるのだろうか…？



本来の自分を正直に出して、生徒と一緒に過ごす中で、伝えるべきことを伝えればいい！

生徒にとってわかりやすい授業をすることができるか不安……。



今も不安はある。でも、先輩の先生方から指導を受けたり、授業を見学させてもらったり、初任研の仲間同士で情報交換をしたりして日々がんばっています！

毎日の授業準備は大丈夫だろうか…？初めての仕事に慣れることはできるだろうか…？



同じ学年、同じ教科の先生と相談したり、プリントやアイデアをもらったりできるから心配いらない！初めての仕事でも、周りの先生がその都度教えてくれるから大丈夫！

年上の保護者とうまく話ができるだろうか…？うまく対応できるだろうか…？



「保護者は敵ではなく味方」の考えで児童生徒の成長と一緒に支える存在であると考えています。保護者から助けられることも。

## 教員生活の一番の思い出・印象深い出来事

児童生徒が目標を達成できた時の感動を共有できたこと。

「今日の授業、面白かった」「先生が担任でよかった」などの児童生徒の一言。

卒業生が次のステージで活躍していることを聞くこと。

しっかり向き合った生徒と、その後、深い話ができるようになったこと。

生徒や保護者と気持ちが通じたことや、同じ思いで活動できたこと。

担任として話した言葉を生徒が大事にしてくれたこと。

子どもから大人へと成長していく過程を見ることができること。もしかしたら保護者よりも一緒に過ごす時間が長いので、責任も感じる。

## あなたの学校の働き方改革で進んだ点は？

ICTをフル活用して授業準備が楽になった。

管理職が常に組織マネジメントを心がけ、随時、業務分担の見直しを行っている。

部活動において、平日のうち1日、土日のどちらか1日が休みになった。

一斉退校日が設定された。定時退校が普通のことになってきた。

会議や業務、行事等の精選を進めている。

出退勤時刻を毎日PCで記録するようになり、効率よく仕事を進めようという意識が高まった。

部活動指導員やスクール・サポート・スタッフの配置が進んできた。

働き方改革はこれからもまだまだ進んでいきます。

## 教員を目指す方へのメッセージ

教師は未来をつくる仕事です。教科を教えるだけでなく、児童生徒を育て、一緒に育つことが好きな人を待っています。

「ブラックな職場環境」というイメージから、教員になるかどうか迷った時期もありました。しかし、想像以上に楽しく仕事できています。今後、働き方改革が一層進み、もっと働きやすい職場になると思います。

子どもたちとかかわりながら自分自身も成長できるのは教師ならではの醍醐味だと思います。ぜひ頑張ってください。

一人で抱えず、学年主任や管理職、同僚から教えてもらいながら、頼りながらのびのびと働いてほしい。背伸びせずに頑張ってください。

子どもが好きなだけでなく、勉強の楽しさを一緒に感じられる教員になってください。

若い人が子どものことを一番よく理解できます。よい風を吹かせてください。

みなさんと共に働けることを楽しみにしています



令和5年度採用山形県公立学校教員選考試験説明会

質疑応答の前に……

今日のオンライン説明会はいかがでしたか？

皆さんの声をお聞かせください！

右のQRコードからアンケートフォームにアクセスしてください(Google Forms)。

3分程度で回答できるアンケートです。



皆さんからのご意見を今後の説明会に生かします。

## 質問事項について

- ① 試験制度「特別選考及び加点」について
- ② 試験制度「①以外のこと」について
- ③ 実施要項請求や出願について
- ④ 上記以外のことについて